



# 週)報

2014～2015年度)) ) R I 会長)ゲイリー C . K . ホアン)  
R I のテーマ) 『ロータリーに輝きを』)  
地区のテーマ))) 「行動) ACTION」) ガバナー)坂本元彦)

国際ロータリー  
第 2 5 7 0 地区

# 狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14) TEL) 04-2954-2511  
〔事務所〕〒350-1305) 狭山市入間川 1 -24-48) TEL) 04-2952-2277) FAX) 04-2952-2366  
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp  
会長)稲見) 淳) 会長エレクト)江原伸夫))副会長)坂本松男) 幹事)江原伸夫)

〔第 3 グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)  
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

## 第 1025 回(1 月 27 日)例会の記録

点 鐘 稲見 淳会長  
合 唱 我らの生業  
第 2 副 S A A 片山君 小林君  
卓話講師 狭山市長 仲川幸成様  
(名誉会員)

### 出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
39名	26名	63.89%	66.67%

### 会長の時間

稲見会長

本日は仲川幸成狭山市長、ようこそお出で頂きました。お話を楽しみにしておりますので、宜しくお願い致します。今日は会社の創立当時のことを少しお話させていただきます。

私は山梨県の出身で昭和 53 年 12 月に狭山市で平和フィールド株式会社を興しました。ちょうど 36 年が経っております。

なぜ会社を始めたかといいますと、以前に勤めていた会社が下請け会社だったので、元請けの余った仕事を下請けが行う訳で、例えばここで開通する北陸新幹線のトンネルの先端打ちや縦横断の測量等、仕事というよりも山登りをしているような、非常に厳しい仕事ばかりでした。このままでは自分の体が持たないのではないかと、自分で始めて、元請け受注にしない限り駄目だと思い、一念発起して会社を創りました。

その時 27 歳でしたので、当然私はお金もなければ何もなく、しかし妻と妻のお腹には 6 ヶ月位の長女がおり、本当に大変な時期でした。事務所をどこに置くかといひましてもお金が無い訳で、仕方なく自分の家を本社に致しました。

家といひましても、私は山梨からの出ですので、公団の賃貸の 8 階を借りておりまして、その 8 階を事務所に致しました。すると色々な弊害がありまして、それが何かと言いますと、営業するのが



ほとんど役所関係、国交省や県、市町村、狭山市も勿論ですが、そうすると「お宅は事務所がどこにあるの?」と聞かれるわけです。「狭山台です」と答えると、「狭山台は知っているけど、狭山台のどこにあるの?」と聞かれ、自分の部屋が 8 階ですから、なんとなく自宅だとは言えず、そこでお茶を濁すということで、肩身の狭い思いをしながら営業を致しました。

また事務所が当然自宅ですので、家内が電話当番をするわけです。電話当番といひましても始めたばかりですので、1 日に 1 本来るか来ないかというようなものを、ずっと 8 : 30 ~ 17 : 00 まで、役所からの指名は全て電話ですので、それを待っているわけです。その間狭苦しい所から出られないということ、そして子供が 4 月に生まれましたので、その電話に子供の声が入ってはいけないということもあり、非常に苦労したことを覚えています。

しかし、そこを事務所としたのは半年位で、その後事務所を構えましたが、まだ本社はそこに置いておりましたので、電話はそこで取っていたという状況で行っていました。

その頃は私も幅広く営業活動を致しまして、だいたい関東一円を営業活動しておりました。1 日多い時で 500km 位、車のメーターが年間 6 万 km を超えました。タクシーが 1 日 200km 乗れば出来が良いと言われている時代ですので、本当に一生懸命営業して歩きました。それが功を奏したのかはわかりませんが、とにかく目標は下請けが嫌だったので、元請け受注にしようということで、1 年位で元請け体制に入りました。

そろそろ私も 36 年になり、今なんとかこのように皆さんのお仲間、少し会社としても成り立っておりますので、引退かとも思いますが、今は仕事よりロータリーの方に重きを置いておりますので、会社もいまいち危ないかなと思ひながらロータリーに参加しております。

これからも一生懸命行いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

## 幹事報告

江原幹事

(定例理事会) 次の件が審議・承認されました。

- (1) 2・3月プログラム承認
- (2) 家族同伴親睦旅行について承認
- (3) I.Mについて承認
- (4) その他の件についての承認
  1. 米山記念奨学生終了式及び歓送会のご案内
  2. 地区青少年奉仕委員会より「第7回オリエンテーション」開催のご案内

### 《)会員3分間スピーチ》) ) 園部明彦会員)

狭山市と超高齢化社会というテーマでお話します。

今、世界で先進国と呼ばれる国はどこも高齢化問題を抱えているようです。日本は世界に先例のない高齢化最先進国、世界が今後の日本の動向に注目しています。

日本は今、4人に1人が65歳以上です。15年後の2030年には65歳以上は3人に1人、私も漏れなくその中の一人です。私は丁度70歳です。その時の自分自身を想像してみますと、まだまだ働いていたい、趣味のゴルフや車もやっていると思う。美味しいものも食べに行きたいし、旅行にも行きたい。言ってみれば、気持ちは今と全く変わらず、ちょっと体力が落ちたなと思うくらいだと想像します。

身近な所では、私の会社で働いて頂いている65歳以上の方は5人いらっしゃいます。4名が女性で、カフェで働いています。最高齢は72歳、日替わりランチのメニュー作りや調理をしてくれています。そして運んでくれるウェイトレスさんの最高齢は67歳。皆さんとても生き生きと働いています。美味しいランチを食べさせてもらうだけでなく、逆に僕の方が元気をもらっています。

3人に1人がそんな方々なら社会はその方々が中心になるような体制をつくり、高齢者が生き生きと暮らせるような街づくりが出来たらいいなあと思います。そんな街づくりを行政の方々は日々頭を悩ませているのだと思います。

幸いこの狭山市は高齢者にも住みやすい地域だと思います。災害の少ない街でもあります。地盤が固く地震に強い、津波もまず来ない。近所の山が噴火して火山灰に悩まされている事もない、大規模な土砂災害の危険もない、毎冬大雪が降って困るということもない。そして大きな企業の工場が沢山あり、第2の働き先として働き手を受け入れるキャパシティが有りそう。そして何よりお茶が美味しい。こんな恵まれた地域を生き、魅力ある都市づくりをして都内や地方からどんどん移住して来るような狭山になったらいいな。



## 「外来卓話」・・・・・・・・

### 「第3次総合振興計画の総括と今後の課題」 狭山市長) 仲川幸成様)

今日は久しぶりの卓話ということですが、私も市長を拝命して、昨日でちょうど11年6ヶ月が過ぎました。私でなければわからないようなことが、これから時代が変わってくると、あるかと思



います。そのようなことを踏まえて、今日は「第3次総合振興計画の総括と今後の課題」についてお話をしていきたいと思

います。この頃色々な所でお話をするのですが、なかなかこの団体も皆会員が減っているという中で、狭山中央ロータリークラブだけは39名という大勢の会員がいらっしゃるということ、そのこと自体で会の良さというものがあるのではないかと

思っています。このような所で講演ができて、私自身も非常に感謝しているところでございます。「第3次総合振興計画」は平成13年から28年まで、あと1年あるわけですが、これが期間であります。総合振興計画というものは、将来像や基本計画、実施計画等あるのですが、言ってみれば将来像とは『緑と健康で豊かな文化都市』と、いつも皆さん聞きなれている言葉だと思います。その次にそれぞれの分野が狭山市を良くするために、分野別に色々な計画を立てながら推進しております。『緑と健康で豊かな文化都市』ということで、まずは【緑】からみますと「環境共生」、【健康】とは「健康福祉」、【豊か】というのは「都市基盤」或いは「産業経済」、【文化】が「教育文化」であるとは「市民生活」と、それを総括的にみると「財政の問題」、このような分野でそれぞれ活動しているところでござ

います。私が5代目になりますが、これを作る時に歴代市長の特徴が表れているということを感じます。初代の石川市長は工業団地、2代目の町田佐一市長は住宅団地、3代目の大野市長は区画整備等、そのような都市基盤づくりを一生懸命されておりました。4代目の町田潤一市長は環境でした。そして私は地域づくりや行政改革、効率的な財政、それぞれの市長によってずいぶん特徴があると感じております。

今この6+1の分野別に第3次総合振興計画の中でどのようなことが印象に残るかということで、まずは「環境」の問題につきまして、平成8年に稲荷山環境センターを作り、環境都市狭山ということで、環境優先都市を宣言致しました。今狭山市が他に誇れる環境は何かと言いますと、リサイクル率35.2%ということで、これは埼玉県で1番であります。ゴミを燃やすと大体12%位燃えカス

が出来るのですが、それを人工砂にする等、埋め立てをしない率を言います。しかしリサイクル率を上げるためにはとてもお金がかかります。

例えば飛灰を熊谷に持って行きセメントの原料にするのですが、それが16億円かかります。ライン環境センターといって、燃しているところの運営経費が16億円で、同じ金額です。いかにリサイクルにお金がかかるかということが、このような所に表れていると思います。

稲荷山環境センターは平成8年に出来まして、あの時、15年たったら新しいものに変えなさいという計画でした。環境センターの手前が広く開いているのですが、そこは次の環境センターを作るための用地です。しかし当時として150億円もかけたわけですので、出来る限り使おうということで、今は長寿命化計画、延命化を図るために毎年お金をつぎ込んで、平成40年位までは使って行こうという計画になっております。また太陽光発電、環境としてはこのシステムを先進的な取り組みということで、平成15年から1000件を目標に年々補助をしてきましたが、だいたい1000件に達しました。そこで今度は地中熱や定置用リチウムイオン蓄電池、ガスエンジン給湯器、或いは水素自動車等も補助していこうということで、来年度4月から補助額を倍の2,000万円に上げ、やっていきたいと思っております。

水素自動車のステーションが407の根岸の上の方にできるという予定ですので、来年度は狭山市も1台水素自動車を買っていこうかという予算も組んだところでございます。

健康福祉につきましては、子供医療費の無料化というものを私が2期目の時に公約、実行致しました。当時平成19年ですが、小学校3年生までの無料化で埼玉県で1番だったのです。狭山市も子供のことで1番のものがあってもいいということで小学校3年生まで実行し、翌年4年生、5年生、最期の年が中学3年生までと致しました。今はほとんどの市町村が子供医療費無料化、そして高校3年生まで等という所もございしますが、当市が先進的な取り組みでありました。どこの市でも行っているの、国や県がもう少しレベルを上げて取り組んでくれれば良いなと思います。

子供医療費無料化は就学前までは埼玉県が無料化をしてくれているため、狭山市と致しましては小学校1年生から中学3年生までの支援ということになります。これは本当に行って、模範的な事業であったと思っております。

また保育所が近年どんどんできておりましたが、10年位前に保育所をやっている人に、待機児童が多いため保育所を増設してくれませんかとお願ひしたところ、全然見向きもされませんでした。それは何故かという、少子化なので保育所を作っても駄目だということでした。

国が動き出して補助額を4倍に致しましたところ、「風の子」、「にっこり」、「たけのこ」、「ひろせ

台」とこのような保育所がどんどん手を挙げてくれました。今は祇園保育所も指定管理者として病後児保育、或いは延長保育をして、待機児童がほとんどおりません。しかし待機児童はいつでも出てしまうということがありますので気は許せませんが、非常に保育所の充足率も上がっているところでもあります。

都市基盤につきましては、何と言いましても西口の再開発であります。狭山市は区画整備事業というものが他所の市に比べて遅れておりました。私が豊岡の高校に行っている時は55年前ですが、その時も豊岡は今の扇台の区画整理の話がありまして、当時とすればむしろ旗が立っているような状況でありましたけれども、いずれにしても、それでもまだ人間市も全てできていないということを見ますと、大変な事業であります。そのような中で、狭山市はまず大野市長の時に上広瀬、広瀬台の土地区画整備事業を立ち上げました。これは昭和63年にできて22年ですので、一つの事業に致しましても20年~25年位かかっているという中で、西口が出来た最大の原因というのは、機構があそこに入ってくれたから、機構のノウハウを活かして、そして地権者協議会を作って頂いて進めたということではないかと思っております。

この金額、最初は460億円などというおりました。しかしリスクを伴わない開発にしようということで、最終的には286億円に致しました。ご存知の通り反対運動が多く、警察でさえ危機感を感じて、私の家に毎晩巡回をしてくれた時がありました。その位、やはり大きな事業といえますのは色々な意味でのリスクを伴ってくるのだと思いました。おかげさまで成功してみますと、別に何も課題が無かったような気がいたします。大勢の皆様にご協力頂いて、今狭山の駅前が良いですねということが出る時には、私自身も非常に有り難いと思っております。

昭和35年、最初に都市計画決定をした時には、駅前広場と市民会館へ行くかすみ野線、さらには紋平寿司から16号へ抜ける上諏訪線、これが都市計画決定だったのですが、残った上諏訪線につきましてはあと3年で抜けるということで、これは地権者の方もほとんど協力してくれるということですので順調に行くと思っております。

西口につきまして大きな課題と言いますのは、やはり高低差がありすぎること、上と下で5m差がありまして、どうしても斜面は土地利用の効率が悪いものですから、眺め、坂、緑、斜面に緑を植えてということを出して開発致しました。市民活動等におきまして、今も夜はイルミネーションが非常にきれいですが、このようなボランティア活動で、西口広場は賑わっております。

産業経済ですが、狭山は二つの工業団地を持って、法人市民税が非常に豊かな時代もありました。ただ法人市民税とは非常に波がありまして、沢山頂けるときは30億円も貰って、駄目な時には10

億円以下になったりしておりました。今は過去から見ると半分くらいしか入っていないという状況でございます。また農業については、農業の一番画期的なものは畑地かんがい、畑にスプリンクラーが回っている、あれで今狭山の里芋が東京市場でも最高に売れるというものになっております。里芋とは湿気作といって湿気を好むものですから、あの水によって非常に収量も増え、品質も良い物ができております。そしてもう一つはお茶の防霜ファンです。プロペラが上で回っているのですが、そこはお茶の表面より温度が2度位高く、そこから風を送るため暖かい風が来るといことと、風があると霜が降りないということがありまして、その防霜ファンによって安定したお茶の収量が得られるということでありまして。しかしお茶についてはダイオキシンの話だとか、或いは東日本大震災の風評被害、このようなもので苦慮した時期もありました。しかし狭山の特産物ですので、色々な面で応援していきたいと思っております。また昨年2月の大雪では、ハウスが41棟倒れてしましまして、大体復旧はできましたが、約4億円撤去費や新設の費用に掛かりました。個人負担を1割ということで国の対策ができて、復旧した所でございます。

教育文化ですが、今小学生・中学生がピークの時の42%です。小学校については多い時は1万7千人いたのですが今は7千人、中学校についても8.8千人いたのですが今は3.7千人と、共にパーセンテージにすると42%です。小中学校で27校あったのですが、やはり効率的な学校運営という意味で統廃合を致しました。まずは狭山台の小学校を2つから1つに致しました。そして今、統合して浮いた北小学校の後を元気プラザという市民大学に致しまして、大人の学び舎になっております。そこで研修をした人がNPO法人を作ったりして、地域で色々活動をして頂いております。また入曽では入曽小学校を統廃合した訳ですが、入曽の駅の周辺開発について、市が姿勢を見せなければ皆がついてこない中、統廃合をし、待っていたのですが、なかなか地権者の理解が得られませんでした。

入曽駅を降りてA-COOPの方へ歩いていくまでに152mあるのですが、152mのなかで間口32mの人にしか賛成を得られませんでした。後の120mを持っているのが3軒の方だったのですが、大地主の反対で、とうとうこれではいつまで経っても埒が明かないということで、撤退をしたという苦い思い出もあります。さらにこの3月31日が入曽中学校が統廃合になり、来年は東中学校も狭山台の方へ行くということで、廃校になります。その他にも入曽地区で更に1校の小学校、水富地区で1校の小学校を統廃合する予定であります。学校の統廃合と言いますのは、どこの市にとってもそう簡単に行くものではありませんが、狭山については非常に理解を頂いて順調に進んでいるという

ことでございます。

小学校を統廃合する前に、8園あった幼稚園を1次で入曽、堀兼、奥富を廃園にし、2次としてこの3月で狭山台、新狭山、柏原も廃園致します。残るは人間川と水富の2園だけということになります。民間でできることは民間ですということでは私自身の方針でありましたので、そうした意味では学校の統廃合ばかりではなく、他のことについても指定管理者、或いはPFIという事業を導入して、市の管理から民間の管理に移しているという状況でございます。

また西武消防組合、所沢市、人間市、狭山市、飯能、日高の5市で消防を公益化致しました。私はもともと人間市の合併の話もあった時に、率先して乗りましようとしたわけで、私自身は人間市と合併して30万都市になったら、所沢と合併すれば対等合併ができると思っていたのですが、これは夢に終わってしまいました。消防だけでもと思い、これは理解して頂いて、一昨年の4月から間もなく2年になる訳ですが、西武消防組合ができました。合併の結果、前線に出る消防職員が大勢になり、本部機能を小さくして前線を充実したという点では非常に効果があったと思っております。

学校の話に戻りますが、今協議異動というものがありまして、学校の先生が何処へ行くかということ調査、時によると一度外の教育委員会にでなければならぬというものがございます。調査した結果、狭山市にきたいという教員が西武教育事務所管内では1番ということでありました。

では狭山市の何がいいのかといひますと、まずは今所沢で問題になり住民投票になっておりますが、狭山市はエアコンがついているから教育環境が良いということ、或いは教員の雰囲気が良い、更には地域や皆さんの理解があるということが、噂として教員の中に広まっているということでございます。教材についても大型のテレビがあったりと、そうした意味では狭山市の教育環境が良いという評価を得ているところであります。いずれにしても子供たちに十分な環境を確保することは、一番大切なことだと思っております。

私は市長になる前に、入曽で消防団や子供たちの育成、PTAや農協の役員等をさせて頂きまして、地域というのを非常に大切にしてきました。それがそのまま市政に反映したという中では、市民大学等についても自分の希望が達せられた、一つの目標が達せられたという思いでいっぱいあります。また先ほど申し上げました行財政改革につきましては、教育施設を除いたほとんどの外の施設を民間で出来ることは民間でということに致しました。智光山の児童館、博物館、サピオ、サンパーク、こうしたものを民間にお願いしたり、給食センターはPFIといって、資金の調達から運営までの全てを民間でやって頂く、そして15年費用を割賦で払い、15年で自分のものにするという方式に致しました。給食センターはこの9月に堀兼の

寿荘の脇に移って、全学校がPFIの給食センターに移行するということでございます。これが今までの歩みの中の主なものでございます。

そしてこれからのことでありますが、時代がどんどん変わってきてまして、いつも想定外という言葉が、この頃想定外ではなくなってしまったという感じが致します。一番の問題は人口のお話でございます。狭山市については平成38年に人口が今の15.4万人から13.9万人になってしまうだろうという結果がでております。国も減るのですが、15年スパンを見ますと、国は今より15年先は94%で、6%の減となります。しかし狭山市の場合は想定が88%ですから、12%の減となります。国の倍、狭山市の減りが激しいということで、これが狭山市の人口推計の状況であります。

狭山市について私なりに分析致しますと、市街化区域の面積が他所の市よりも少ないということがございます。更に団塊の世代が一気に入ってきたということがございまして、今狭山市の人口の一番高いところは、68歳で3,100人おります。この間お話致しましたが、0歳児が992人ですから、狭山市の人口減少をどう食い止めるかということとは大きな課題であります。色々な所から意見を聞いているのですが、第4次総合振興計画の中では14万人を下回らない人口にしようという目標を持っております。

今の急激な社会変化の中で何が課題かと言いますと、やはり少子高齢化、経済の停滞、人口の減少、価値観の多様化、情報通信技術の進歩、グローバル化、市民活動の活発化等ありますが、どれをとっても非常に課題が大きいものがあります。今社会保障費というものが40%を超えているわけですが、どうしても福祉にお金が相当くわれているという中で、これから例えば市が行うべき公園の管理、道路、橋梁、学校の施設等そのようなものを考える時に、長寿命化、全てのものに今あるものを大切に使い続けなければいけないということをつくづく感じております。そのような部分に予算をするとともに、市民活動をお願いしたいとしておりますが、ご理解頂ける人には一生懸命やって頂いているのですが、なかなか大勢の人をそこまで導くことは大変だということをつくづく感じる次第でございます。

「第4次総合振興計画」を行う時に、皆さんに市民意識調査を受けて頂きましたが、狭山市のどんなところが良いかということに、どうして住み始めたかということ、お金との相談だと思うのですが、条件にあった物件が見つかったからという回答が一番多かったです。そしてずっと住み続けたい、できれば住み続けたいという回答も非常に多いのですが、これは高齢者が言っているのではないかと私は思っております。

上下水道についても、先ほどお話したゴミの問題、公共下水道、子育てについても、他の市よりはまだ良いとは思いますが、なかなか発信力、

どう発信していくかということが、これからの大きな課題ではないかと思っております。そこで私は、これからの子供たちのためにも思い、今年は「育もう新たな芽」ということで、子供たち、何かやろうとする人、そういうものを育てていく社会づくりが必要だということで、新しいアイデアを応援していこうという目で、これからの市政運営をしていきたいと思っております。

## ニコニコボックス



- 稲見君 仲川幸成狭山市長、ようこそ狭山中央ロータリークラブにお出で頂きました。今日のお話楽しみです。3/14のIMの出席も宜しくお願い致します。園部さん3分間スピーチ期待しています。
- 江原君 仲川市長、本日はご多忙中の中私共の卓話の時間を設けて下さり本当に有難うございます。お話を楽しみにしておりました、何卒宜しくお願い致します。
- 小島君 狭山市長、仲川幸成様お出で頂きありがとうございます。お話楽しみにしておりました。宜しくお願い致します。
- 守屋君 仲川市長様、お忙しい所わざわざ卓話に御来会下さり誠に有難うございました。
- 小澤君 市長、お忙しい時期の「卓話」有難うございます。お話楽しみにしております。
- 坂本君 仲川市長様、狭山市発展の希望ある未来づくりとなるような卓話よろしくお願い致します。園部会員の3分間スピーチ楽しみにしております。
- 園部君 3分間スピーチ宜しくお願い致します。
- 吉松君 仲川市長様、本日の卓話素晴らしい話、よろしくお願い致します。

2014～2015年度  
ニコニコ累計額

1,916,000円



次の例会

第2副SAA 小室君 栗原(憲)君

2月10日(火) 12:30~13:30

クラブ協議会